

2017年3月 第65号

ひとひと
女と男

きらめき

発行 沖縄市役所 市民部 平和・男女共同課
沖縄市男女共同参画センター

〒904-0003 沖縄市住吉一丁目14番28号(3階)
(沖縄市社会福祉センターとの複合施設)
TEL (098) 937-0170 (平日 8時30分～17時15分)
FAX (098) 937-0175

Kirameki

OKINAWA

沖縄市男女共同参画推進事業

第16回きらめきフェスタを開催しました!!

開催日時：平成29年1月21日(土) 場所：沖縄市社会福祉センター(集会室) 参加者：85名
13時30分～15時30分

第1部「女性の翼」視察研修報告会

沖縄市から第33期沖縄県女性海外セミナー「女性の翼」海外派遣・視察研修(ベトナム)へ参加された宮城柊呂さん、金城壽子さん、上原周子さんの3名による報告会を行いました。

関連する公的機関や女性団体等を訪問し、女性の社会参加や教育・福祉・人権等の視察研修を通し、感じたことや学んだことをそれぞれ報告されました。



左から宮城柊呂さん、上原周子さん、金城壽子さん

第2部 友利敏子講演会



友利新さんの母に学ぶ! 敏子流 子育て術と、仕事と家庭を両立する秘訣!



友利敏子氏

医師でタレントの友利新さんの母でもあり、沖縄空輸株式会社代表取締役社長、元沖縄県男女共同参画センター「ているる」館長の友利敏子氏による講演会を開催しました。性別に関わらず個性を大切にする子育て術と、母・女性・経営者としてのワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)についてお話ししていただきました。

プロフィール

宮古島出身。宮古高等学校、宮城女学院文学科を卒業後1967年より宮古琉米文化会館勤務。その後、平良中学校英語教諭を経て株式会社宮古通運航空取締役へ。仕事のかたわら中央大学法学部通信課程に学び1990年に卒業。有限会社宮通企画代表取締役、株式会社ありむら航空取締役を歴任。2001年から約5年間(財)おきなわ女性財団常務理事、沖縄県男女共同参画センター「ているる」館長を務めた。2010年より現職に就任。家族は3年前に他界した夫との間に長女、次女、三女。三女は医師でタレントの友利新さん。

母の言葉

私は戦争未亡人となった母のもとで育ちました。母は「今は何も無いかもしれない。それでも、やりたいことに向けて努力しなさい」とよく言っていました。お金がなくても、お腹が空いていても、私の心はとても豊かでした。

人間は現実に即して生きねばなりません。ですが未来に夢を描くことにお金は必要ないのです。「夢はもらえるものではない。お金で買えるものでもない。自分で生み出すもの」この教えを忘れたことはありません。

女性の力

教師だった母が女性として初めて中学3年生を受け持った頃は、懸命に働いても男性の半分の給料しかありませんでした。さらには「女のくせに」「女に任せたら危ないのでは」などと女性への評価が低い時代です。そんな境遇の中でも、母は每晚、生徒宅を一軒ずつ訪問し「勉強頑張っていますか」とサポートしていました。結果、ほぼ全員を志望校に合格させました。実績を築き、女性の力を示し、道を切り拓いてきたのです。

子育てで大変な時期があなたの一番幸せな時期

私はこども達を医者にしたいと思っていました。ですが「医者になりなさい」と押し付けるわけにはいかない。野口英世の伝記や医者に関する素晴らしい本を買ってきて自然に読むようにさりげなく置いておく。「医者って偉いんだな」と自分で判断させるのです。若いうちに「何になりたい」という意識を持つのはとても大事なことです。けれどもなかなかハッキリしたものがでてこないのです。それを手伝うのは親だけれども最後は本人に言わせる。そして、本人に決めさせる。皆さん、子育てで大変な時期があなたの一番幸せな時期。振り返ればそう思えるのです。ですから子育てを、大変だ大変だと思いつつも楽しんでください。これが人生にとって大切で一番幸せな時期。それを乗り越えると、またいろいろな人生がやって来る。それに対応できるような柔軟性を、そして常に好奇心を持つことです。

多様な人生の尊重

少子高齢化が進行している今日の日本では、人口減少が既に始まっています。働き手がなくなれば国として成立しなくなる時代が必ずやって来ます。しかし、必ず結婚して子どもをつくるのではないのです。こどもが生まれない人もいるし、独身で頑張る人もいます。選択肢はたくさんあります。人生は多様なのです。

最近、長時間労働などの問題がよく取り上げられますが、労働力が不足していくなかで支え合いを持続できる社会を築くためには、結婚しても子どもができて、その人にあった働き方を見つけられる「ワーク・ライフ・バランス」の実現が大変に重要です。

男性、女性の両方にとって優しいシステム

「男は働き、女は家事と育児で家を守る」この考え方は高度経済成長期において必要なものでした。しかし今は違います。「男女共同参画」と聞くと、「なんだか女性ばかりを良くして」と思う男性が多いかもしれません。それは違います。「男女共同参画」はいわば男性にとっても優しいシステムなのです。男性が背負いこむ責任を女性とも分かち合い、共同でより良い地域社会、家庭を築き上げていくシステムなのです。父親は積極的に育児に参加して人生がキラキラ光る時期を大切に過ごしてほしい。男性の育児休暇というのは宝物であり必要なのです。ぜひ取得してほしい。そして女性は働く努力をしてほしい。ビジネスというのは、厳しい。だからこそ努力しないといけない。働くということは自分に厳しく、キャリアアップすることです。勉強しないといけないのです。子育てをしながら自分を磨くのです。

最後に

親にも恩返し。地域にも恩返し。色々な意味で人の役に立つ人間になるために必要なのは、自分が健康であること。そして自分を幸せと思い、みんなと楽しく明るく人生を過ごすことです。私は一生懸命頑張って生きてきました。これからは、あなたが一生懸命頑張るって幸せに生きる番です。

アンケートより 友利敏子講演会

私にとって今がとても大変な時なので、いろいろと感じさせられました。忘れていたことが思い出せたので良かったです。(30代女性)

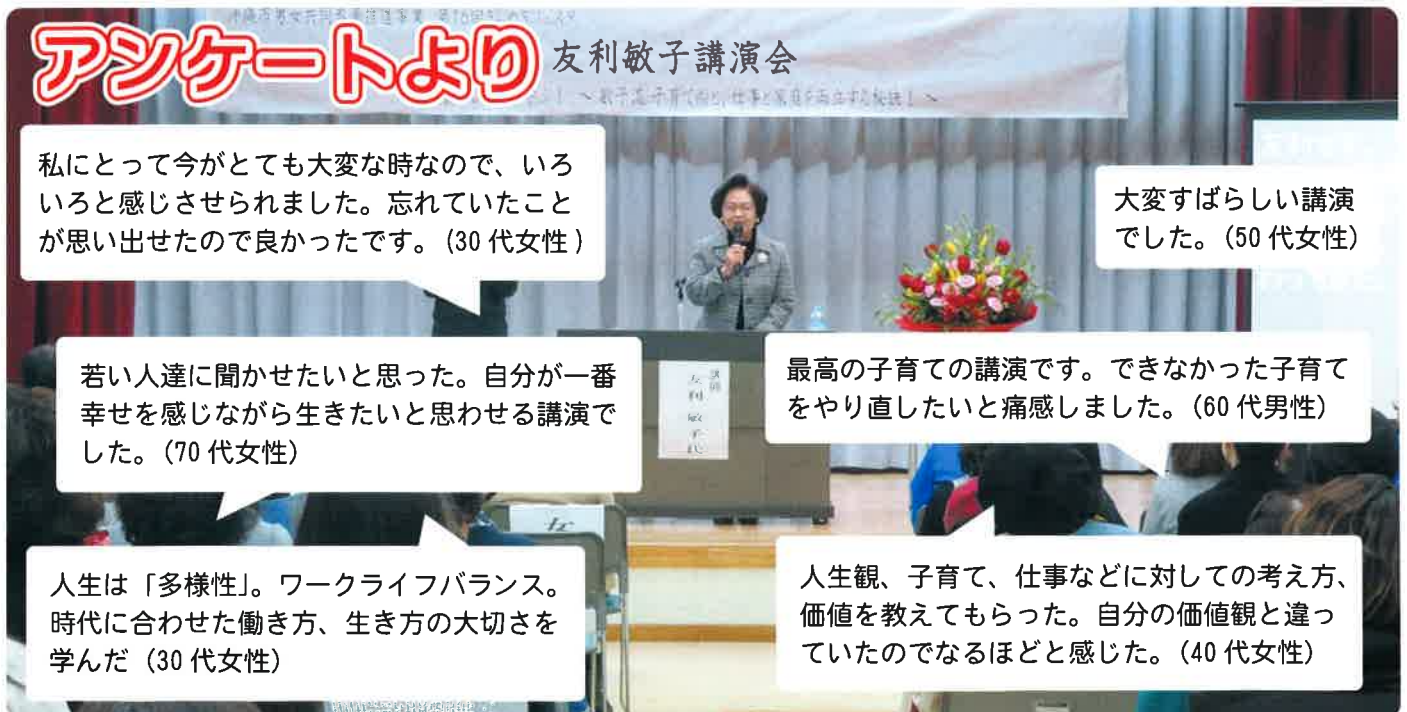
大変すばらしい講演でした。(50代女性)

若い人達に聞かせたいと思った。自分が一番幸せを感じながら生きたいと思わせる講演でした。(70代女性)

最高の子育ての講演です。できなかった子育てをやり直したいと痛感しました。(60代男性)

人生は「多様性」。ワークライフバランス。時代に合わせた働き方、生き方の大切さを学んだ(30代女性)

人生観、子育て、仕事などに対する考え方、価値を教えてもらった。自分の価値観と違っていたのであるほどと感じた。(40代女性)



性の多様性に関する 特設コーナー

沖縄市男女共同参画センターの図書・情報コーナーに「性の多様性に関する」特設コーナーを設置しました！「男性が男性を、女性が女性を好きになる」といった恋愛・性愛の対象が同性に向かう同性愛、または男女両方に向かう両性愛に対しては、根深い偏見や差別があり、苦しんでいる人々がいます。また、からだの性とこころの性との食い違いに悩みながら、周囲の心ない好奇の目にさらされ苦しんでいる人々がいます。こういった偏見や差別をなくし、理解を深めることを目的として設置しました！



LGBT, GID, DSD とは？

パネル提供団体:大阪市淀川区役所心のちリスペクト。ホワイト・リボンキャンペーン

Lレズビアン(同性を好きになる女性) **G**ゲイ(同性を好きになる男性) **B**バイセクシュアル(性別に関わらず同性を好きになることもあれば異性を好きになることもある人) **T**トランスジェンダー(自分の性別や表現する性別のイメージが出生時に割当てられた性別のイメージに合致しない人) の4つの頭文字をとって**LGBT**と表現されます。

GID 性同一性障害の英語名 Gender Identity Disorder の略で、出生時に割当てられた性別に違和感があり、心と身体の性別を一致させたいと願っている人。

DSD 性分化疾患の英語名 Disorder of Sex Development の略で、通常は男女どちらかで統一される性器や性腺、染色体の性別があいまいだったり、一致しなかったりする疾患の総称。



性の多様性に関する 図書紹介

沖縄市男女共同参画センターで貸出を行っている性の多様性をテーマにした図書を紹介します！

※貸出をご希望の方は貸出申請書に必要事項をご記入の上、身分証明書と一緒に窓口へお申込み下さい。(市内在住・在勤・在学者は1人5冊まで。市内の団体は1団体10冊まで。期間は2週間)

同性婚のリアル

アメリカやアイルランドの同性婚の法制化や、渋谷区や世田谷区での同性パートナーシップ証明書発行などで、話題になっている「同性婚」。

この同性婚の現状について「カミングアウトの悩み」「結婚を決めるまで」「結婚式の喜びと苦労」などを、レズビアンカップルの二人が語る一冊。また二人と同様に結婚式を挙げたゲイカップルとのクロストーク形式での対談も収録されています。



著:東小雪、増原裕子
出版:(株)ポプラ社

境界を生きる

～性と生のはざままで～

生まれたときに外性器で男女の区別がつかない、また性染色体 XX と XY が混在している場合がある「性分化疾患」と、出生時の性別に違和感があり、心と身体の性別を一致させたいと願っている「性同一性障害」。生まれたときに「男、女」と性別は決まっている—そう疑わない社会で、誰にも言えない苦しみを抱え込む当事者たち。苦悩する医療関係者、そして現実の壁。この問題の難しさが沢山の事例から紹介されています。「人々の意識が変わることで、救える命がある。無関心という「罪」をこれ以上深めてはいけません。」



出版:毎日新聞社

(エピローグより)



沖縄市女性団体連絡協議会

沖縄市女性団体連絡協議会は、平成3年に結成され現在市内13団体が加盟（1団体休会）し延べ14,020人の会員がいます。平等・発展・平和の理念の下、会員の資質向上と地位向上、男女共同参画社会の実現及び沖縄市の活性化を図ることを目的に活動しています。

護佐丸歴史資料図書館 及び あやかりの杜図書館 視察

中 城 村

北 中 城 村

今回の研修は女団協21名、事務局2名の合計23名で護佐丸歴史資料図書館及びあやかりの杜図書館の視察研修を行いました。

護佐丸歴史資料図書館では、担当者からの概要説明と館内施設の案内を受けました。1・2階には図書館、3階には企画展示室があり、企画展や講演会などが行われ、災害などの非常時には避難場所としても使用されるとの説明を受けました。



平成28年11月10日(木)に会員の資質向上を図るため視察研修を行いました。



「中城村役場公式サイト」より

あやかりの杜図書館は、図書館を中心にカフェや野外で遊べるキャンプ場の他、宿泊施設などがあります。美しい緑に囲まれた癒しの空間で読書ができる施設に感動いたしました。



～ 市議会を傍聴して ～

沖縄市の政策・方針決定の場への関心を高め、有権者としての意識向上を目的に、平成28年12月第386回沖縄市議会定例会を傍聴してきました！

私たちが住む沖縄市について、たくさんの質問がありました。

新聞やSNSでの間接的な情報だけではなく、しっかり自分の目で見て聞くことの大切さを改めて感じました。待機児童やアリーナ建設、コミュニティバスの問題等、細かな質問もおこなわれています。私たちが住んでいる沖縄市の事を議論している市議会。もっとたくさんの市民が傍聴をし、市民全体で考える事ができるといいなと思いました。

沖縄市PTA連合会
奥間 由紀江

初めての議会傍聴で沢山の議論が展開され、よく聞く基地問題や教育・福祉行政、道路行政、観光行政等の質問であった。

議員や行政担当者からの回答で勉強不足の私でも少々は理解できた。特に行政が福祉事業に力を注いでいることが分かった。

市民の皆さま、少しでも市議会に関心を寄せてください。私たちが選んだ議員がどれだけ市民のために働いているか伺うことができる大変良い機会だったと感動しています。

国際ソロプチミスト沖縄一球陽
宜名真 登喜子

議会最終日に傍聴をする機会を与えられ、議場に入りまず驚いた。議長や市長、関係部長がずらりと並んで、こちらに向かって座っている様子を圧倒。

沢山の議論が展開される中、残念なことに議員からの質問に対して、答弁者の声小さく聞き取りにくかった。

住みやすい沖縄市にするため、私たち市民は行政に関心を持たなければならないと思い、いろいろと勉強させて頂きました。

沖縄市農漁村生活研究会
上里 経子